

学年	1	科目:臨床実習 I PT	受講者数	42
学科	PT	教員:三田久載、大沼賢洋、臨床実習指導者	回答率	83%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
の I 授業内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.4	4.5
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.3	4.4
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.5	4.4
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.5	4.4
の II 授業の進め方	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.8	4.5
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.7	4.4
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.7	4.4
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.7	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.3	4.4
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.7	4.4
	(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.7	4.4
の III 評価	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.7	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.6	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.5	4.4
の IV 取組	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.9	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.9	4.5
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.7	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.7	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	8
課題の質・量	2
実習の進行速度	6
関連する情報や話題の提供	7
指導者とのコミュニケーション	1
実習生同士のコミュニケーション	3
教科書、教材、資料の選定	1
控室など施設環境条件	1
	0
	0
	0
	0
特になし	64

自由記載

- ・ 事前準備や説明が不十分。システムの根本に欠陥があるにしても出来ることは目に見えてあった。
- ・ 初めての实習でわからないことが多いのに、支援システムの説明があまりにも少なく実習中不安な気持ちのままでした。ですので、実習に行く前に課題や支援システムの記載に関してもう少し説明が欲しかったです。
- ・ 臨床実習セミナーで実習担当の先生からの指示が無く、実習が始まる前の週に違う学年の先生から必要な情報を初めて知り、担当の先生からは何も連絡が無かったことがあった。初めての実習ということもあり不安を抱えたまま実習に行く学生もいた中、実習後のセミナーでも自分が連絡不足だったことに対して何も説明がなかった。実習レポートを記入することに関しても、1時間半という時間の中で二つのテーマについて各一枚表裏を埋めるように言われ多くの学生が時間内に書けず、再提出を要望されたことに不満がありました。事前に実習後のセミナーに関しての説明があれば、実習終了後の土日で月曜日にレポートを書けるように実習で経験したことについてまとめた用紙を準備することができ、スムーズ且つ内容が詰まったレポートを書くことができたのではないかな、と思います。報連相ができていないと学生に注意する前に自分の報連相ができていないことに注意をして欲しいです。
- ・ 臨床実習支援システムに関して説明不足な点がいづつかあるように感じた。また、実習後のことも少し話していただけるとこちらも少し準備する事が出来たと感じる。
- ・ 担当の教師と指導者との間やセミナーの入力方法などが上手く説明されてなかったりしたことがあった

担当教員からのコメント

1年生の実習で初めて臨床実習支援システムを導入しましたが、学生、実習地との連携をより充実していけるよう改善していければと思います。

学年	1	科目:臨床実習 I OT	受講者数	33
学科	OT	教員:臨床実習教育者、市村紋子(実習調整担当者)、中村毎途(担任)	学科回答率	94%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
の I 授 容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.6	4.5
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.7	4.4
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.7	4.4
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.6	4.4
の II 授 業 の 進 め 方	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.7	4.5
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.6	4.4
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.6	4.4
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.7	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.4	4.4
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった。	4.7	4.4
	(11)	指導者は質問、提出物に対する対応は適切であった。	4.8	4.4
の III 評 価 の 進 捗	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.7	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.8	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.7	4.4
の IV 取 組 み の 進 捗	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.8	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.8	4.5
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.6	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.7	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	1
関連する情報や話題の提供	0
指導者とのコミュニケーション	1
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
	0
	0
	0
特になし	31

自由記載

- ・ 初めての实習だったので緊張したがSVの方が寄り添って丁寧に教えてくださったので理解を深めることができた。

担当教員からのコメント

初めての实習で多くの人が緊張したと思います。実習で多くのことを学んだり経験するためには、自ら取り組む姿勢が大切になります。
この先の実習は長期になりますので今回の実習を通して感じた課題をこの先の学習に繋げていきましょう。

学年	2	科目:臨床実習Ⅱ	受講者数	43
学科	PT	教員:三田久載、大沼賢洋、臨床実習指導者	回答率	93%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
のⅠ 授業 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.1	4.5
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	3.9	4.4
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.2	4.4
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.2	4.4
Ⅱ 授業 の 進 め 方	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.4	4.5
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.4	4.4
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.4	4.4
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.4	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.2	4.4
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.5	4.4
	(11)	指導者は質問、提出物に対する対応は適切であった。	4.4	4.4
Ⅲ 総 評 価 合	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.5	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.6	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.4	4.4
のⅣ 取 あ 組 な み た	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.6	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.6	4.5
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.4	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.4	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	1
課題の質・量	0
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	0
指導者とのコミュニケーション	0
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
	0
	0
	0
特になし	27

自由記載

- ・ もう行きたくないです。
実習セミナーがシラバスよりも多く行われたにも関わらず臨床実習支援システムの説明が不足していた。さらに実習先の指導者への説明も上手く伝わっておらずスムーズな実習が行えなかった。敢えて説明を多くしないとおっしゃっていたが必要な説明まで省かれてはなにも出来ないためしっかり説明してほしい。
- ・ 臨床実習支援システムについての説明で不十分な部分が多く目立っていた気がします。
実際に実習地に行ってから不明な点が浮かび上がって、学校に電話して確認しても説明したはずの一点張りは困ります。明らかに準備不足で臨んだと思います。
- ・ 臨床実習セミナーでの説明が不十分だと思う。明確な指示もなく支援システムのやり方がわからないまま実習が開始された。もう少しわかりやすく説明してもらいたい。時間をかける割になにも身につかない。
- ・ 臨床実習セミナーでの説明が不十分だと思う。明確な指示もなく支援システムのやり方がわからないまま実習が開始された。もう少しわかりやすく説明してもらいたい。時間をかける割になにも身につかない。

担当教員からのコメント

2年生の実習で初めて臨床実習支援システムを導入しましたが、学生、実習地との連携をより充実していけるよう改善していければと思います。

学年	3	科目:臨床実習Ⅳ	受講者数	39
学科	PT	教員:大沼賢洋、三田久載、赤岩龍士、白井英彬、植田英則、実習指導者	回答率	69%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
Ⅰ 授業 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.9	4.5
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.8	4.5
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.7	4.4
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.8	4.4
Ⅱ 授業 の 進 め 方	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.7	4.5
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.8	4.4
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.8	4.3
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.9	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.8	4.4
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.9	4.4
	(11)	指導者は質問、提出物に対する対応は適切であった。	4.8	4.4
Ⅲ 総 評 価 合	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.9	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.9	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.8	4.3
Ⅳ 取 組 み の あ ら わ い	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.9	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.9	4.5
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.8	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.6	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	3
指導者とのコミュニケーション	2
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
	0
	0
	0
特になし	30

自由記載

担当教員からのコメント

初めての長期実習で、緊張する場面も多かったかと思います。
 多くの方は、医療人としての自覚を持って、取り組むことができたと思います。
 貴重な経験ですので、今後活かせるようにしていきましょう。
 前後のOSCEでは、患者さんへの対応の仕方はだいぶ良くなっていました。
 引き続き、頑張ってください！

学年	3	科目:臨床実習Ⅲ	受講者数	30
学科	OT	教員:臨床実習教育者、市村紋子(実習調整担当者)、間瀬亜由美(担任)	回答率	93%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
のⅠ 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.5	4.5
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.5	4.5
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.4	4.4
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.5	4.4
Ⅱ 授業の 進め方	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.6	4.5
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.5	4.4
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.5	4.3
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.8	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.3	4.4
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった。	4.7	4.4
	(11)	指導者は質問、提出物に対する対応は適切であった。	4.6	4.4
Ⅲ 総 評価	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.6	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.6	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.5	4.3
のⅣ 取 組 み な み	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.8	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.7	4.5
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.7	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.5	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	3
指導者とのコミュニケーション	2
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
	0
	0
	0
特になし	30

自由記載

- ・ 大変だったけど、すごく楽しかったです！
- ・ 施設の方々がとても親切で、実習生を常に気にかけてくれる雰囲気がありました。また、バイザーもとても優しくて親身になって相談に乗ってくれました。
- ・ 他大学のように、4週間で2回の実習にしてほしい。あまり、経験をさせてもらえない実習地とそうでない人との差が大きいと思う。

担当教員からのコメント

初めて8週間の長期実習を経験しました。現場に身を置いて、対象者の方たちにたくさん触れさせていただいたり、様々な先生にご指導いただいたことで、皆さんが今まで学んできたことがより深い理解になったと思います。同時に現場の楽しさ、難しさを痛感する実習でもあったと思いますが、OTの魅力にも気づけた実習だったのではないのでしょうか。実習から帰ってきたみなさんはとても大人になった気がしました。この経験が次の臨床実習Ⅳにも繋がりますので、みんなで頑張っていきましょう。

学年	4	科目:臨床実習V	受講者数	24
学科	OT	教員:臨床実習教育者、市村紋子(実習調整担当者)、松尾祐介(担任)	学科回答率	100%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
のⅠ 授業 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.5	4.5
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.5	4.5
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.4	4.4
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.6	4.4
のⅡ 授業 方 め 方 の 進	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.6	4.5
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.7	4.4
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.6	4.3
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.7	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.3	4.4
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった。	4.7	4.4
	(11)	指導者は質問、提出物に対する対応は適切であった。	4.7	4.4
のⅢ 評 価 合	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.5	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.5	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.5	4.3
のⅣ 取 あ 組 な み た	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.8	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.8	4.5
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.6	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.7	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	3
指導者とのコミュニケーション	2
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
	0
	0
	0
特になし	30

自由記載

- ・ 2週間という短い期間の中で実習地によって事前から症例の方も決まっている人もいれば決まっていなかった人もいて決まっていなかった場合事例シートを始めるのも遅くなるため対象者の方が毎日通所を利用してる人はほぼいないため課題の量が少し多いのではないかと感じました。
- ・ SVの先生が同い年だったので、相談などがしやすくよかったです。また、訪問リハの見学などの機会もただけで非常に勉強になりました。
- ・ 2週間でやる課題量としては適切ではなかったと思います。特に事例情報シート作成は実習地の先生方の負担も大きく感じました。

担当教員からのコメント

新しいカリキュラムでの臨床実習で、十分整備されていない部分があったと思いますが、皆さん今までの臨床実習の経験から、地域の視点で取り組んで頂けたと感じています。実習前後のセミナーや課題、臨床実習施設との情報共有など、皆さんの意見も参考に取組んでいきたいと思っています。皆さんのこれからのご活躍を応援しています。